

<< 令和5年度 自己評価結果公表シート >>

幼保連携型認定こども園 こもれび

2023(令和5)年度 施設としてどのように取り組んだかの自己評価結果報告

法人重点項目

- (1)法人理念・子どもへの関わりなど、法人基盤の教育
⇒“保育及び幼児教育の質”の向上に努めるべく園内研修の継続実施(年4回)。
- (2)風通しのよい職場環境
⇒新規採用職員の月1面談の実施・メンバーを入れ替えながらの Mtg 実施。
- (3)主幹教諭、リーダーの人材育成マネジメントの強化
⇒研修が協会開催分に頼ったかたちとなり、マネジメント研修として不十分であった。
- (4)勤務体制(シフト)の見直しを目的とした人材雇用
⇒有資格フルタイム職員の確保には苦戦。但し、年度末には余剰な配置となった。

施設重点項目

【幼保連携型認定こども園こもれび】

- (1)適正な配置人数プラス α としての職員雇用の採用活動強化
 - ・配置基準+ α での園運営は行えたが、法人として目指す保育及び幼児教育の質として担保できたかという課題が残る1年となった。
 - ・職員雇用のハードルが年々上がっている傾向にあり、有資格者のフルタイム雇用に関しては非常に難しい。*京田辺市参考時給 公立 1,450 円
- (2)子ども主体の保育及び幼児教育の見直し・遊び/生活環境の見直し
 - ・指示命令においての訓練を繰り返すのではなく、自ら考えて表現する/遊ぶことを子どもが主体で活動できるように計画を重ねた。
 - 取り組み1) 運動会-子ども達で活動準備・生活発表会-司会・遊びへの導入
 - 取り組み2) 運動会/発表会の為の訓練をさせるのではなく、年間の日々の積み重ねを意識
 - 取り組み3) わかばふえすていばるの計画・実施
 - ・早朝・延長時間の外遊びの活動を標準とし、体を動かす時間の確保に努めた。
 - ・乳児の子どもが安心して遊べる環境として乳児園庭の整備に取り掛かった。

以上